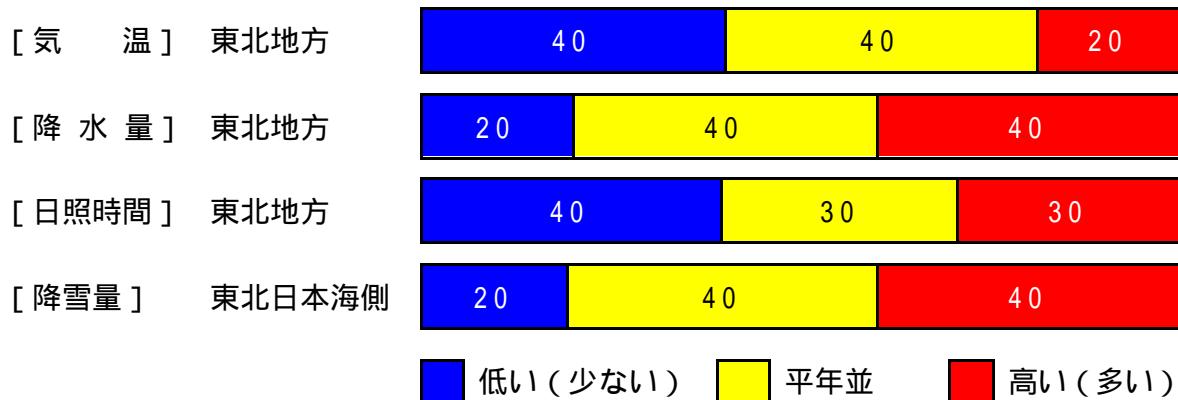


東北地方 1か月予報の解説（予報期間：2月3日～3月2日）

平成13年2月2日 仙台管区気象台

1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率（%）



[気 温]: 東北地方は「平年並」か「低い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「高い」の可能性は20%と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「少ない」の確率は20%と小さい。

[日 照 時 間]: 東北地方は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は40%です。「平年並」と「多い」の確率は、それぞれ30%です。

[降 雪 量]: 東北日本海側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう 1 か月

東北地方は、概ね周期的に気圧の谷が通過するでしょう。期間の前半は低気圧の通過後、強い寒気が入る見込みです。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

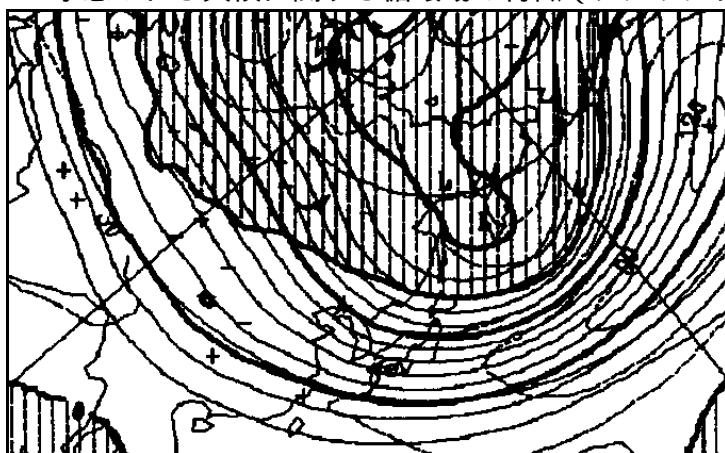
平均気温は平年並か低いでしょう。

向こう 28 日間の晴れ日数：東北日本海側約 7 日、東北太平洋側約 18 日

各予報期間の天候の特徴

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 週目……………
(2 月 3 日～2 月 9 日) | 明後日（4 日）までは、強い冬型の気圧配置となり、東北日本海側や東北太平洋側の山沿いでは雪が降り、大荒れとなるところがあるでしょう。太平洋側では沿岸部を中心におおむね晴れる見込みです。その後は気圧の谷が周期的に通り、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側でも天気の崩れる日があるでしょう。
平均気温は平年並でしょう。
平年の晴れ日数：東北日本海側約 1 日、東北太平洋側約 5 日 |
| 2 週目……………
(2 月 10 日～2 月 16 日) | 気圧の谷が周期的通過し、通過後は強い寒気が入り冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では天気は周期的に変わるでしょう。
平均気温は低いでしょう。
平年の晴れ日数：東北日本海側約 2 日、東北太平洋側約 5 日 |
| 3～4 週目……………
(2 月 17 日～3 月 2 日) | 冬型の気圧配置は長続きせず、天気は周期的に変わるでしょう。平年に比べて東北地方は晴れの日が少ないでしょう。
平均気温は平年並の見込みです。
平年の晴れ日数：東北日本海側約 4 日、東北太平洋側約 9 日 |

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



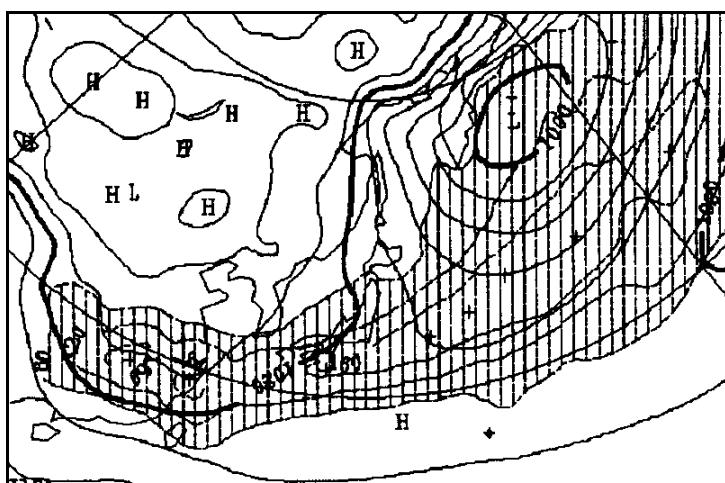
月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高度線 : 60m 毎、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差)

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、北海道の北は負偏差、日本付近は太平洋に中心をもつ正偏差に覆われる。

日本付近の偏西風は東西流が卓越しており、天気は周期変化が基調となるが、北ほど寒気の影響を受けやすい。

週別（図略）では、2週目に日本付近は負偏差に覆われ寒気が入りやすいが、西谷傾向であり低気圧の影響も受ける見込み。3～4週目は日本付近が正偏差に変わる。

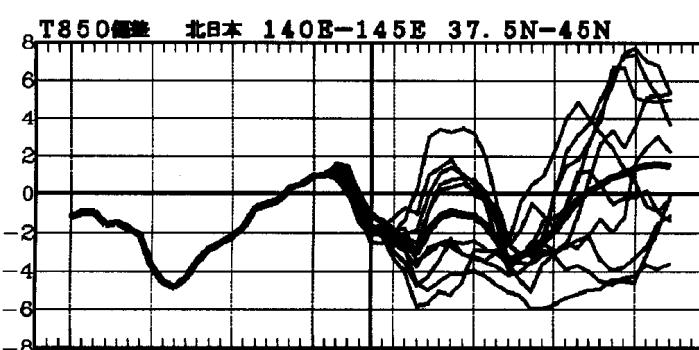


月平均の地上気圧と降水量
(等圧線 : 4hPa 毎、降水量 : 40mm 毎、陰影部 : 80mm 以上)

・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、中国大陸に高気圧があり、ベーリング海では低気圧が発達して、日本付近は冬型の気圧配置となっている。日本付近は広く降水域に覆われ、日本南岸はまとまった降水域となっている。

週別（図略）でもおおむね冬型の気圧配置だが、2週目以降、日本の南岸が低圧部となり、日本の南岸から東海上に降水域が予想され、南岸を通過する低気圧の影響を受けやすい。



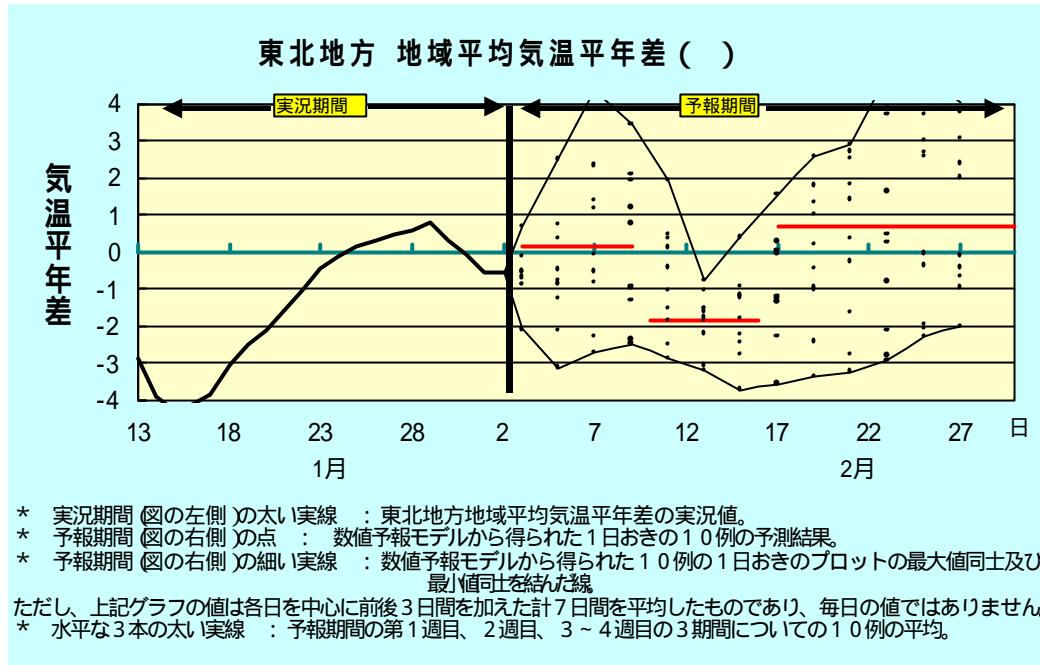
北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想
(縦軸 : 気温平年差 () 横軸 : 日付)
発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1週目から2週目は平年より低く、その後は平年並から平年より高くなる。ただし、1週目からばらつきが大きい。

3. 東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

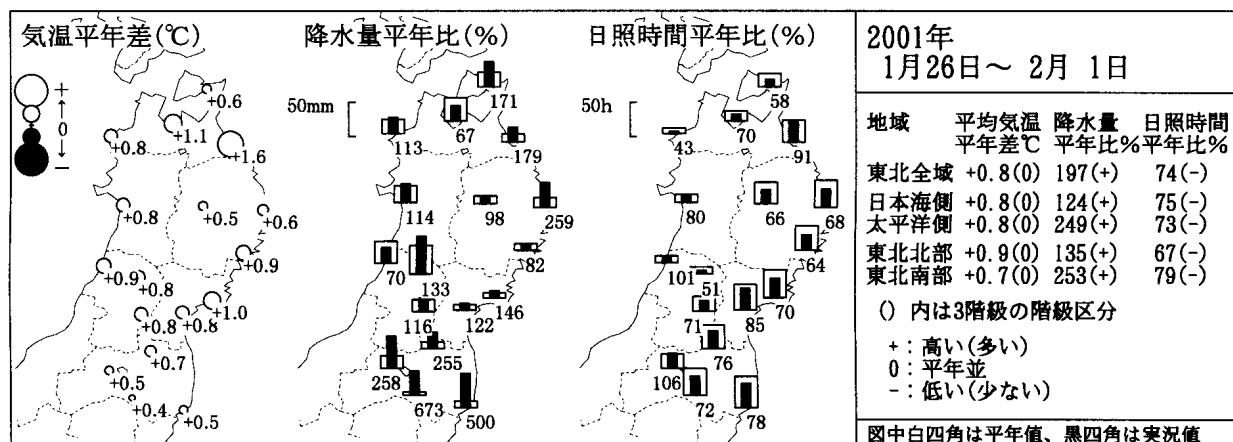
週別の気温は、1週目「平年並」、2週目「低い」、3~4週目「平年並」を予測している。なお、アンサンブルメンバーのはらつきは大きく、信頼度は小さい。



4. 最近1週間(1月26日～2月1日)の天候の経過

低気圧が27日と2月1日に低気圧が通過し、東北地方は天気が崩れた。特に27日は、福島県で大雪となり、交通障害が発生した。27日の日降雪量は、若松 29cm、福島 20cm、仙台 8cmなどだった。低気圧の通過後の28～30日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪または雨となったが、東北太平洋側では概ね晴れた。そのほかの日は高気圧に覆われ晴れの所が多くかった。

平均気温は、東北地方で平年差+0.8と高かった。降水量は、東北地方で平年比197%と多かった。日照時間は、東北地方で平年比74%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)